

江村哲二（えむら てつじ）

1960年3月生まれ。兵庫県西宮市出身。作曲家。1992年にワルシャワ・フィル主催・第2回ウィトルド・ルトスワフスキ国際作曲コンクール（審査員：ウィトルド・ルトスワフスキ）にてオーケストラのための《インテクステリア第5番》が第1位を受賞し注目を集める。続く1993年には、ヴァイオリン協奏曲第2番《インテクステリア》が東京都制施行50周年記念国際作曲コンクール（審査員：ジョルジ・リゲティ）に入選し、さらに翌1994年には、武満徹の推挙により第4回芥川作曲賞を受賞する。また1998年には、オーケストラのための《ローレンツの蝶々》が第9回ブザンソン国際作曲コンクール第1位を受賞。2000年度は岩城宏之音楽監督オーケストラ・アンサンブル金沢・コンポーザー・イン・レジデンスを務めた。2006年1月には武満徹没後10年を記念して、オーケストラのための《地平線のクオリア》武満徹に追憶に〜が、大野和士指揮の新日本フィルによって初演された。管弦楽曲を主要作品に、色彩豊かな音色を特徴とする彼の音楽は、フランス・「ノルマンディの10月」音楽祭、メッツ音楽祭、ドイツ・ラジオSFB音楽祭、「シュレヤーンの秋」音楽祭、イタリア・アカデミア・ポローニャ音楽祭、ヴェネズエラ・フェスティバル・ア・テンポ、ISCM国際音楽祭など、海外においても広く演奏・放送がなされている。作品はビヨドー社(パリ)、全音楽譜(東京)などから出版されている。現在、金城学院大学人間科学部教授(作曲学)。名古屋工業大学大学院修了。作曲は独学。横浜市在住。

公式サイト <http://tetsujiemura.com>
公式ブログ <http://tetsujiemura.blogzine.jp>

・受賞歴

- 1989年12月：第6回現音作曲新人賞受賞（日本現代音楽協会主催）
受賞曲：弦楽四重奏曲《窓》
- 1991年05月：第13回作曲賞入選（財団法人日本交響楽振興財団主催）
入選曲：《時に…》オーケストラのための
- 1992年04月：第2回ルトスワフスキ国際作曲コンクール第1位受賞（ワルシャワ・フィル主催）
受賞曲：《インテクステリア第5番》オーケストラのための
- 1992年06月：第8回名古屋文化振興賞受賞（財団法人名古屋市文化振興事業団主催）
受賞曲：《インテクステリア第3番》6人の器楽奏者のための
- 1993年03月：平成四年度文化庁舞台芸術創作奨励特別賞受賞（文化庁主催）
受賞曲：ヴァイオリン協奏曲第2番
- 1993年10月：東京都制施行50周年記念国際作曲コンクール入選（東京都主催）
入選曲：ヴァイオリン協奏曲第2番《インテクテリア》
- 1993年11月：ISCM国際音楽祭「世界音楽の日々」入選（国際現代音楽協会主催）
入選曲：《インテクステリア第5番》オーケストラのための
- 1994年05月：ACLアジア音楽祭入選（アジア作曲家連盟主催）
入選曲：ヴァイオリン協奏曲第2番《インテクテリア》
- 1994年08月：第4回芥川作曲賞受賞（財団法人サントリー音楽財団主催）
受賞曲：ヴァイオリン協奏曲第2番《インテクテリア》
- 1998年09月：第9回ブザンソン国際作曲コンクール第1位受賞（ブザンソン国際音楽祭主催）
受賞曲：《ローレンツの蝶々》オーケストラのための
- 2002年10月：ISCM国際音楽祭「世界音楽の日々」入選（国際現代音楽協会主催）
入選曲：《ローレンツの蝶々》オーケストラのための

Tetsuji Emura

Tetsuji Emura was born in Nishinomiya in 1960. He came to the attention of the public when his "Intexterior No.5" for orchestra won first prize in the 2nd Witold Lutoslawski International Composers Competition, Warsaw Philharmonic (Jury: Witold Lutoslawski) in 1992. In the following year, his violin concerto "L'Intextérieur" won an honorable mention at the International Competition of Composition to Commemorate the Semicentennial of the Tokyo Metropolitan Government (Jury: György Ligeti), and then the Akutagawa Award (Jury: Toru Takemitsu) in 1994. In 1998, "Les Papillons de Lorenz" for orchestra won first prize at the "9e Concours International de Composition Musicale pour Orchestre, Besançon 1998". From April 2000 until March 2001, he was Composer-in-Residence at the Orchestra-Ensemble Kanazawa, under music director Hiroyuki Iwaki. In January 2006, "The Qualian Horizon" for orchestra, to the Memory of Toru Takemitsu, was premiered in commemorating the 10th anniversary of Toru Takemitsu's demise with Kazushi Ono conducting the New Japan Philharmonic Orchestra. His music, characterized by rich timbres, has been heard at many music festivals around the world, including "Octobre en Normandie" and "Fête en Metz" in France, "Ultraschall Deutschland Radio SFB" and "Schreyahner Herbst" in Germany, "Accademia Filarmonica di Bologna" in Italy, "Festival a Tempo" in Venezuela, and "ISCM World Music Days". At present, he is professor of composition at the College of Human Sciences, Kinjo Gakuin University, and lives in Yokohama. He has master's degree in engineering from the Nagoya Institute of Technology. He is self-taught as a composer.

Website: <http://tetsujiemura.com>

Blog: <http://tetsujiemura.blogzine.jp>

江村哲二
2006年4月